

< 報道関係各位 >

2010年7月
大塚国際美術館

熱い要望にお応えして、今年も実施します

10月8日「陶板名画の日」記念イベント「あなたの想い、陶板で永久に残します」

永久に残したい絵画や写真 全国より募集

～ かけがえのない絵画や写真を特殊技術で陶板化～

応募締切 / 9月17日(金) 当日必着

世界初の陶板名画美術館「大塚国際美術館」(徳島県鳴門市)は、10月8日「陶板名画の日」に向けて、かけがえのない絵画や写真を永久に残す記念イベント「あなたの想い、陶板で永久に残します」を今年も実施いたします。つきましては、陶板化を希望される方々を全国より募集します。

ご希望の方は、絵画や写真の種類、サイズと「永久に残したい理由」を明記の上ご応募ください。なお、**陶板技術を使えば、絵画や写真が色褪せることなく2千年以上残すことが可能**になります。

「モナ・リザ」「最後の晚餐」「ゲルニカ」・・・世界の名画を、そのままの姿で永久に残すことができれば・・・陶板化技術と「陶板名画」は、このような切なる願いから生まれたものです。

「大塚国際美術館」は、そんな願いを具現化するために誕生した世界初の陶板名画美術館で、日本最大級の常設展示スペースを誇る館内には現在、世界の名画1000余点が、原寸大かつ寸分違わぬ姿で陶板に再現され、一堂に展示されています。

そんな中、2005年、10月8日が「陶板名画の日」として認定されました。そこで「大塚国際美術館」では、個人の製作した絵画や写真を大塚オーミ陶業株式会社の特殊技術で陶板化し提供する、「あなたの想い、陶板で永久に残します」を実施し、第5回目となった昨年は、3名の方々の“想い”を実現することができました。

19歳で亡くなった最愛の娘の写真(50代女性)、日本特性の野生ラン、最盛期のクマガイソウの写真(60代男性)、2度目の人生の出発点となった友達との写真(30代女性)など、昨年の陶板化応募にはいずれも、かけがえのない想いが込められています。そして数多くの感動の声とともに、記念イベント継続の要望が寄せられました。

そこで今年も、かけがえのない絵画や写真を永久に残したいと願う人々5名様を叶えます。これを機会に、あなたの熱い想いを実現してください。

多くの皆様のご応募をお待ちしております。概要は、以下のとおりです。

募集概要

- 名称 10月8日「陶板名画の日」記念イベント「あなたの想い、陶板で永久に残します」
- 内容 「陶板名画」の意義を広めることを目的に、「陶板名画の日」10月8日に限り、名画の永久保存を目的に使用されてきた陶板技術で、個人の製作した絵画や写真を陶板化します。
- 陶板化数 5作品
1作品あたりの陶板化制作費用は30～50万円。当イベントの主旨に添う方に無償で制作いたします。(制作する陶板寸法はA4判相当)
- 応募方法 官製ハガキ・FAX・メールのいずれかにて、以下の項目を明記の上、お申し込みください。
〒住所、氏名、年齢、電話番号
陶板化したい絵画や写真の種類、サイズ、これまでの保存年数
永久に残したい理由
ご応募いただいた個人情報は、当選者へのご連絡のためのみ使用させていただきます。
当選された方にのみご連絡させていただきます。
アマチュアに限ります。
- 応募先 **官製ハガキの場合**
〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池65-1
大塚国際美術館「陶板名画の日」係
- FAX・メールの場合**
以下ホームページの中に申込フォームがあります。所定欄に必要事項を記入ください。
URL <http://www.o-museum.or.jp/>
- 応募締切 2010年9月17日(金) 必着
- 書類審査の上、陶板化の条件を満たした5名様に内定した旨をご連絡します。
大切な写真や絵画をお預かりするため、下記日程に大塚国際美術館へ現物を持参していただくことで、正式な当選といたします。
- 当選受付 2010年10月8日(金)「陶板名画の日」14時

「陶板名画の日」10月8日(とうばん)

2005年7月、日本記念日協会により、10月8日が「陶板名画の日」に正式認定されました。大塚国際美術館を中心に、世界各国の美術館や美術界の専門家が推進する「世界の名画を永久に残す」という世界初の文化プロジェクトに対する理解を促し、「陶板名画」の意義を広く啓発することが記念日制定の目的です。

参考：2009年度 第5回「あなたの想い、永久に残します」実施結果

募集時期 2009年8月～9月

応募総数 全国より30名（応募要件を満たした数）

陶板化数 3名様（陶板化の諸条件を満たした方）

以下に概要と、本人の応募コメントをそのままの言葉で抜粋します。

19歳で亡くなった最愛の娘の写真

（大阪府 / 女性 / 54歳）

私達の最愛の娘奈々は、小学3年生の時、脳腫瘍と診断され19歳で天の星となりました。その間、十数回の再発・後遺症という大人でも押し潰されそうな不安と毎日毎日闘いながら誰にも優しく思いやりを忘れないで明るく前向きに生きてくれました。

奈々はほんとうに小さくても強い可憐な花のよう。私たちは、娘の花びらのようなピンクの頬を見るだけで、それだけで、この上もない幸せな気持ちに包まれたものでした。

そんなむすめのたった一つの願いは、「可愛いお嫁さんになること！」

どこまでも優しく人と争うことの出来なかった娘のこのささやかな夢が2000年を超えてみなさんの心を暖めますように、そしてまばゆいほどの青春を謳歌する若者達がこの夢と一緒に幸せになりますように。昨年奈々が入院中、歌手の絢香さんがお見舞いに来てくれました。そのときに奈々を励ますように歌を作ってくれました。「みんな空の下」という曲です。

日本特産の野生ラン、最盛期のクマガイソウの写真

（千葉県 / 男性 / 68歳）

クマガイソウは、日本特産の野生ランで、古くから茶花としても珍重されてきた植物です。その花や形が特異であるため、近年は乱獲の対象となり、各地の自生地が衰退している現状にあります。私は、1973年、八千代市少年自然の家の創設に関わった折、周辺の植物を集めた植物観察園を自作しました。この時、付近にわずかに数本残されていたクマガイソウを移植して増殖を試み、市民に自然保護の大切さを訴える材料としました。9年後には300本近くに増え、その見事な景観は、それまでの経緯と共に「天声人語」で全国に紹介され、乱獲の危機から生存権を得ました。

以来30年、毎春ここを訪れる市民の人々の目を楽しませています。

最盛期のクマガイソウの美しさを陶板に残して展示し、自然保護の大切さを一層印象付けられるようにしたいと思うものです。

2度目の人生の出発点となった友達との写真

（愛媛県 / 女性 / 34歳）

一人息子が小学2年生の春、交通事故にあい、首から下全身麻痺で、人工呼吸器をつけどうにか命は助かりました。その時、生きる希望となったのが保育園から小学生までずっと一緒だった友達の存在でした。外出許可がでるまでの2年間、手紙や千羽鶴、ビデオレターなどで支えてくれた友達が外出の日に合わせて全員が集まってくれたときの写真です。車椅子に乗り人工呼吸器をつけ別人の息子に普通に接し喜んでくれました。

現在小学5年生で周りの友達のお陰で地元の普通の小学校へ戻ることができました。人工呼吸器をつけ車椅子の生活ですが、あの日の写真は2度目の人生の出発点となりました。

どうしても一生残しておきたいと思い応募させていただきました。

大塚国際美術館とは

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約 4 km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

TEL：088-687-3737

FAX：088-687-1117

<http://www.o-museum.or.jp/>

開館時間：9時30分から17時（入館は16時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

正月明けに連続休館あり / 7・8月無休

入館料：小・中・高生 520円

大 学 生 2,100円

一 般 3,150円

*20名以上の団体は10%割引

アクセス

- ・鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行
- ・高速バスにて（高速鳴門まで）
JR大阪駅より約2時間10分 / JR新神戸より約1時間35分
- ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車
JR徳島駅より約55分、JR鳴門駅より約15分、
「高速鳴門バス停前」「小鳴門橋」バス停より約15分、
「徳島空港」バス停より約30分



環境展示：「システーナ・ホール」



作品画像は全て当館の展示作品を撮影したものです

《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 企画・広報部 坂本明子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：museum@otsukakj.co.jp